

CAS	123911
物質名	1,4 - ジオキサン
IARC Vol. (発行年)	71 (1999年)
遺伝子傷害性に関する知見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝子傷害性に関する複数の試験で陰性の結果であったが、invitro試験系の体細胞変換試験で陽性の結果であり、in vivo 試験系では、マウス骨髄細胞を用いる小核試験で陽性及び陰性の結果を得た。
実験動物に関する知見	<p>評価：十分な証拠</p> <p>概要：マウス、ラット及びモルモットに経口投与した結果、マウスで肝細胞の腺腫とがん、ラットで鼻腔、肝臓上皮組織、乳腺及び腹膜の中皮腫、モルモットで肝臓と胆嚢の腫瘍の発生増加を認めた。</p>
ヒトに関する知見	<p>評価：不十分な証拠</p> <p>概要：低濃度の職業暴露を受けた労働者を対象とした小規模な前向きコホート調査の結果では、がんによる死亡率上昇を認めなかった。</p>
評価結果	<p>上記のとおり、本物質は複数の試験系で遺伝子傷害性が認められていないが、浄水場の浄水等から検出されたとの報告があるため、引き続き、情報収集に努める必要があると考えられた。</p>